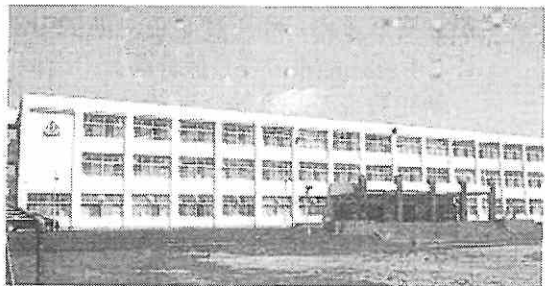


令和5年度 北海道小学校長会地区活性化支援事業【実践事例レポート】

- 1 報 告 地 区：渡島地区
- 2 事例報告学校名：松前町立松城小学校
- 3 報告者職・氏名：校長 長 縄 達 幸
- 4 キーワード：特色ある学校経営 ～小中一貫教育の取組

1 はじめに

本校は、明治8年に開校し、今年で148年目を迎えた歴史ある学校である。北海道で唯一の城下町である松前町の中心部にあり、春には満開の桜を見るために多くの観光客が訪れる松前公園がすぐ近くにある。平成25年には町内の三つの小学校と統合しているが、児童数の減少は続き、今年度の児童数は99名で各学年1学級と特別支援学級2学級の編制となっている。



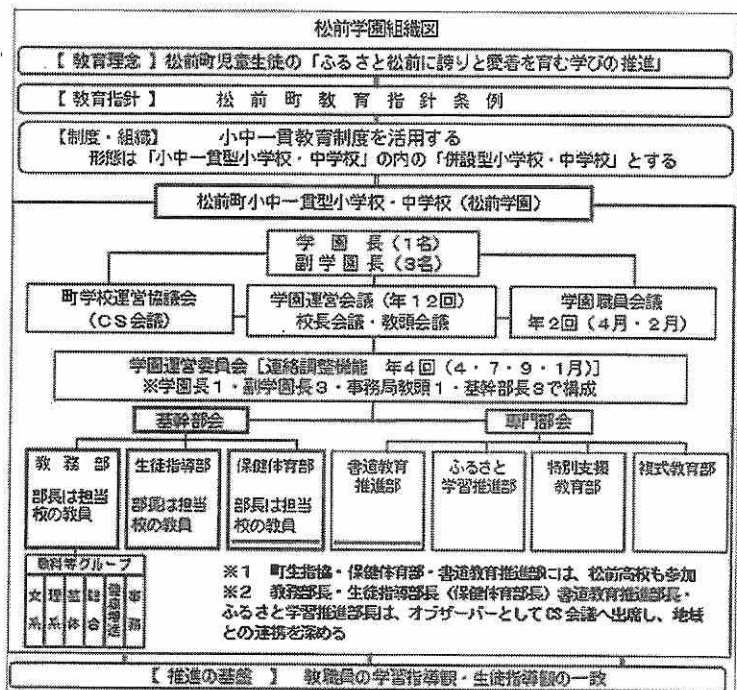
また、町内には本校を含め小学校3校と中学校1校、高等学校1校がある。

2 小中一貫型小学校・中学校『松前学園』

(1) 小中一貫教育制度創設の経緯

松前町では、平成20年の「松前町教育指針条例」制定以来、「学力向上」「書道教育」「ふるさと学習」を中心的な取組として据え、町内の小・中・高校が連携を強化し、成果を上げてきた。その成果を生かし、一層の充実を図るために、平成30年度より小中一貫教育制度を導入し、確かな学力の定着とふるさとに誇りと愛着がもてる心の教育の充実をめざしている。

組織は、独立した小学校及び中学校が、義務教育学校に準じた形で一貫した教育を施す「小中一貫型小学校・中学校」という形態をとり、4校を一体的にマネジメントする組織『松前学園』を設け、学校間の総合調整を担う担当校の校長を学園長として定めている。



『松前学園』の教育目標 **松前愛 挑戦 感動**

郷土松前に誇りをもち、松前を愛する子
無限の可能性に向かい、主体的に挑戦する子
健康な生活に向かい、主体的に挑戦する子
他を思い共に歩み、豊かに感動する子



(2) 特色ある活動

①学力向上の取組

主体的・対話的で深い学びの実現のために「そろえる」「つなげる」「ささえる」をキーワードに、各校で共通して取り組む項目を設定するとともに、9年間の系統性のある指導計画を作成して実施している。また、ICT教育の充実を積極的に図り、研修会や4校間での情報共有に取り組んでいる。

②ふるさと学習

体験的な学習を通してふるさと松前のよさを知り、視野を広げ、故郷に誇りと愛着をもたせ、ふるさとに生きる意欲を喚起することを目標として、歴史・文化や産業、食文化や自然環境など幅広い内容を取り上げ、体験的な活動を実践している。実施にあたっては、町に登録されている「ふるさと応援団」やコミュニティ・スクール委員、学芸員や役場職員等の協力を得ながら進めている。



③書道教育

松前町では書道教育に力を入れており、平成21年には、文部科学省教育課程特例校の指定を受けて「書道科」を開設し、小・中学校全学年で「書の日常化」に取り組み、文字を尊重する態度をはじめ日本文化への関心を深めている。



④小・中の円滑な接続と連携

小中の連携を強化するため、小学校3校の6年生が中学校に集まって1日学習を行う「乗り入れ授業」など中1ギャップの緩和に向けた取組を継続的に実施するとともに、情報共有を密に行うなどして児童生徒理解を深めている。



⑤教員の指導力向上の取組

教科等部会を年4回開催して小中双方の教職員の研修に努め、松前町の学習状況の実態把握と児童生徒に個別最適な学習方法の開発を進めている。また、学園教育研究集会を年1回開催し、実践に基づく研究を深めている。

3 おわりに

松前学園の創設から6年が経過し、小中一貫型小学校・中学校としての教育活動の基盤は安定したものとなってきている。一方で、児童生徒数の減少に伴い学校規模の縮小傾向が続くことが予想されるため、学園として持続可能な教育活動や組織体制の在り方を模索していく必要があると考えている。町内の学校が一層連携を深めるとともに、保護者や地域の理解と協力を得ながら、松前の未来を担う人材を育てる教育活動を推進していけるように、これからも努力していきたい。

